

池袋第一小学校が「森の中の学校」に!



現在、令和4年8月の竣工に向けて、池袋第一小学校の改築を進めています。「森の中の学校」をコンセプトとした、区内の小学校では初となる5階建ての校舎です。

最新の学習環境とともに自然と触れ合える環境を充実させ、国の「エコスクール・プラス」制度の認定を受けております。かまどベンチやマンホールトイレ等の防災設備も整備し、地域のシンボルとなる学校を目指します。



池袋第一小学校完成予想図(北側外観)

エコスクールって?

環境や自然を考慮して整備された学校施設のことです。環境負荷に配慮した設計で、自然エネルギーを有効活用し、環境教育にも活用できる、持続可能な学校づくりを行っています。

池袋第一小学校では、太陽熱による給湯や雨水の活用等により、エネルギー・資源の消費を抑制する設計を行っています。また、太陽光発電装置やビオトープを整備し、環境教育に活用していきます。

お問い合わせ 学校施設課学校改築推進グループ/4566-2789



文化財の見方・楽しみ方・その11

朋有小学校通学区の巻

皆さんは、豊島区立鈴木信太郎記念館(東池袋5-52-3)をご存知でしょうか。この記念館は、日本におけるフランス文学研究の草分けである鈴木信太郎とその長男で建築学者の成文が居住し、平成24年に豊島区の有形文化財に指定されました。書齋棟、茶の間・ホール棟、座敷の3棟からなるこの建築群の中で、今回は書齋棟について紹介します。

昭和3(1928)年に建てられた書齋棟は、室内は床から天井まで作り付けの書棚が四方を囲い、窓の上部は美しいステンドグラスで飾られているなど、落ち着いた雰囲気の中で翻訳や論文の執筆ができるように造られています。

しかし、この書齋が建てられた本当の目的は、蔵書を護ることでした。信太郎はフランス留学中に収集した書籍を船火事で失った経験から、当時珍しいコンクリート造で書齋を建て、窓には防火シャッターを設備し、入口も鉄の防火扉で備えました。そして、この建物は昭和20(1945)年4月13日の空襲から見事に蔵書を護りました。

このように、書齋棟は単なる学者の仕事場ではなく、建築主のつらい経験から生まれた建物であるということがうかがい知れます。



「鈴木信太郎記念館(旧鈴木家住宅)書齋棟」

お問い合わせ 庶務課文化財グループ/3981-1190



関根統括指導主事の

つぶやき

「今時の若者は」という言葉。この言葉は、五千年前のエジプトでも同じように使われていたと記録が残っていると。自分には子供がおり、思春期真っただ中です。親として、「今時の若者は」と言いたくなることもしばしばありますが、タブレットPC等を駆使して、新しい学びを進んでいる姿を見る時、世の中の急激な変化に順応し、新たな価値を創造しようとしている「今時の若者」の凄さを感じます。豊島区の学校はSDGsの達成に向けた学習に取り組んでいます。目標の達成に向けて、若者の持っている力をしっかりと育てていくことが大人の役目だと思います。

困っていたら話してみよう!

ひとりじゃないよ! 相談してね

豊島区は、いじめ根絶に向けて「豊島区いじめ防止対策推進条例」を制定しています。

豊島区教育センター教育相談
名前を言わなくても相談できるよ。LGBTなどの相談もコチラへどうぞ。
03-3983-0094 開設日時/月~土曜日(祝日・年末年始を除く)
午前9時~正午、午後1時~午後5時

豊島区子ども家庭支援センター
保護者の方の子育てについての相談や、地域で気になるお子さんの相談もできます。子どもの悩みも相談できるよ。
東部子ども家庭支援センター 03-5980-5275
西部子ども家庭支援センター 03-5966-3131
開設日時/月~金曜日、午前9時~午後6時 土曜日、午前9時~午後5時

アシスとしま
子どもからおおむね39歳までの若者の悩み、困りごとは「アシスとしま」へ
03-4566-2476 開設日時/月~金曜日(祝日・年末年始を除く)
午前8時30分~午後5時